ラブリー・スマイル

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

ゴールデンウイーク中に札幌でも桜が開花し、北海道はいちばん過ごしやすい季節になります。気温も上がり、休日などは半袖姿でまちを歩くおしゃれさんも見かけますね。お花見は行きましたか？ジンギスカンは食べましたか？

靴をコレクション

お酒は人を幸せにします!!

ピヴォ2階のレディースショップ「ヴ・メーム」の販売員の伊藤佐知子さん（21）は友人の名言をメッセージにした。最近は日本酒を楽しんでいるそうで、「休みがなくてお花見に行けないので、家の近くに咲いている桜でも見ながら…」なんて冗談を。かわいい靴を探すのが楽しみ。「立ち仕事なので、すぐだめになってしまうんです。月に2、3足は買ってしまう」という。気に入った靴は部屋にも飾っちゃうという。

初孫バンザイ

本年7月待ぜの初孫 バンザイ！

生まれてくる初孫が待ち遠しいのは、水野眼鏡店の佐々木勝之さん（60）。「世間ではうれしいといわれていますからね」とはぐらかしながらも、夫婦では楽しみな話題だ。眼鏡を扱って約40年以上。同社でも20年あまりを過ごし、昨年の定年退職後も販売や修理に携わっている。街頭に自分の写真をデザインした旗を見つけたときにはびっくりしたものの、「マチ全体を明るい雰囲気になっていいですね」とイベントの広がりを見守っている。

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

試練味わってます

今、この瞬間もHappy

「新人美容師です」と自己紹介するかぶってパチリ。北区麻布の美容室「FITS DUE」で働いている。シャンプーとブローを任されているが、手荒れという職業病に泣かされる毎日。「話は聞いていましたが、厳しさをひしひしと感じています。連休前に函館に1泊旅行して気分転換した。「今度は沖縄とか京都とかをゆっくり1人旅してみたいな」

今年はライジング行くぞ

はじけげ SUMMER

「ことしはライジングサン（野外ロックイベント）、行きます」と夏が待ち遠しい、やましたとおみさん（19）は札幌市立高専5年生。「芸術デザインコースで、いすやテーブル、アクセサリーなどを実際に作っている。ハマっているのがはり「メキシコ」。メキシコの守りのガイコツに一目ぼれして、卒業制作もメキシコの家族にある神棚を再現しようと考えている。実は製作よりも企画やデザインが好き。将来は「ゆっくり1人旅デザイナー」。

ふわふわ系の美容師さん

笑をかさねていけるこいびとみつかるかな??

美容室のエアー澄川店で働く新人美容師の細川尚恵（ひさえ）さん（20）は個性的な雰囲気を持った女性。「ふわふわ系」と呼ばれ、アットホームな店にぴったりフィットしている。「手先はあまり器用ではないんですけど、少しずつ仕事ができると楽しい。先日は年輩のお客さまにマッサージして『気持ちいいねぇ』と喜んでもらいました。目標像は年齢を重ねても若くてかわいいジュディ・マリのYUKIちゃんだそうだ。

今週のメリーなひと

PJスタッフから

四番街の北から南まで、このフラッグがお目見えしています。このページに出たことがある人もたくさん登場していますよ！

先週もちらっと触れましたが、Merryの展覧会が始まりました！駅前通りの街灯にMerryなメッセージが一本の街灯につき8枚、合計180人の笑顔の写真が掲出されました。ご覧になりましたでしょうか？

歩いている時にフラッグに気がついてしまうと、まうと、前方への注意がおろそかになってしまうので、信号待ちをしている時などにふっと見上げてみてくださいね。

フリーペーパーに載っていない人もフラッグに登場しているので、「知ってる人はいないか？」と探してみると結構おもしろいですよ。

この街灯フラッグは一日から登場していますが、10日からは4番街始まって以来のパブリックアートです！三越、4丁目プラザ、パルコ、水野メガネ、コスモなどに巨大なMerryな笑顔とメッセージが登場します。どれも幸せそうな、嬉しそうな、楽しそうな表情ばかりです。ぜひぜひご覧になってください！

ちなみに、この規模で四番街の北から南まで同じコンセプトで装飾するのは、四番街の歴史の中でもかなり珍しいそうです。嬉しいですね。

ぜひぜひ四番街に足を運んで、気軽に笑顔のアートに触れてみてください。

この装飾の下、MerryのオリジナルTシャツを着てゴミを拾う、30日のゴミ拾いの参加者も引き続き募集中です。ふるって、ご参加ください。

（プロジェクトスタッフ・賀集いりえ）

「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう！」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベントが「Merry in Sapporo」。ちょっと元気のない札幌や北海道をMerry（幸せ）で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店員がメリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merryはあなたの足下から」―5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ拾いイベントでフィナーレを迎えます。

詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。